

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	17
	令和	6年 2月 14日
	午前・午後	2時 50分

議会名	令和 6年 第 2回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	4番	小森 隆一
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 地方創生による活性化に向けた取り組みについて (1) 地方拠点強化税制における企業誘致について (2) 地方創生関係交付金における取り組みについて	①地方創生、地域活性化のためには、大手企業の誘致が大きな効果が出ると考えるが、本市の取り組みについて伺う。 ②企業が移転をするのに相応しい土地などについて、本市の把握状況を伺う。 ③企業などからのこれまでの問い合わせ等の実績状況を伺う。 ④企業誘致には、都道府県から企業が一定の条件を満たした事業計画の認定が必要だと思うが、本市として、その認定に対して、何が課題かの整理をしているのか、また、その課題について伺う。 ⑤佐野市の特徴や強みから、誘致したい、あるいは比較的誘致しやすいと思われる業種について、見解を伺う。 ①地方創生関係交付金を活用して取り組んでいる事例について、伺う。 ②企業誘致に優位になるためには、企業が来やすい環境整備が不可欠であると考えます。それは、地理的条件もあれば、インフラ整備の状況もある。また、地域特性の優遇措置等も考えられる。企業誘致を考えて、国の		

<p>(3) 企業誘致に向けた今後の取り組みについて</p> <p>2. 支え合い助け合う地域社会の構築について</p> <p>(1) 日常の買い物等への支援の推進について</p> <p>(2) 認知症の人も家族も安心な地域の構築について</p> <p>(3) 心のサポーター養成制度の充実の推進について</p> <p>(4) 介護する人(ケアラー)等への支援の推進について</p>	<p>交付金事業を活用して、佐野市独自の優遇措置などに取り組んでいく考えはないか、見解を伺う。</p> <p>① 企業誘致に向けた今後の取り組みについて伺う。</p> <p>① 食品など日常の買い物に困っている高齢者を支援するため、食料品などを自宅に届ける宅配サービスや地域を巡回する移動販売カーの運行を進めるべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>② スーパーなどの商業施設への送迎用のデマンド交通の整備も有意義かと考えるが、見解を伺う。</p> <p>③ 外出に困難を感じている高齢者に対し、スーパー等の商業施設への送迎や店内での買い物サポートにより、安全・安心して外出が可能になり、健康増進につながると思うが、見解を伺う。</p> <p>① 「(仮称)認知症サポート検診事業(認知症に関する正しい知識の普及啓発および新しい治療を望む人が、その機会を失わないための情報提供の推進。認知機能検査と地域における検診後のサポート等を推進)」について、見解を伺う。</p> <p>① 8050問題や引きこもり、うつ病などの精神疾患への正しい知識と理解を持って、PTSD(心的外傷後ストレス障害)を抱えてしまってる人も含めて、メンタルヘルスの不調を抱える人を地域や職場で支える「心のサポーター」の養成について、講習会などを積極的に展開し、適切な支援が届けられる体制を整備すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>① 誰もが介護者となりうる現状において、介護する人(ケアラー)が、孤立することなく、当たり前の日常を送れるように、ヤングケアラーやダブルケアラー、ならびにビジネスケアラー等も含めて、介護者を支援するために、相談窓口や家事支援体制の整備が必要と考えるが、見解を伺う。</p>
---	---

<p>(5) 女性に寄り添う離婚問題支援について</p> <p>3. 「子どもの遊び場の設置」について</p> <p>(1) 「子どもの屋内遊び場の設置について</p>	<p>① 孤独に苦しむ弱い立場に置かれがちな女性や子どもを持つ女性へ寄り添う「離婚セミナー」の開催について、見解を伺う。</p> <p>① 子どもの居場所として、「新・子どもの屋内遊び場」の設置を提案するが、見解を伺う。</p>
--	--